

宗景正写真展 『祖国よ』・中国『残留日本人孤児』はいま

凍てつく中国の大地に取り残され、侵略者の子供として苦難な人生を歩んできた人びと、祖国日本への帰国が始まつて二十余年、彼らは今どのようすに暮らしているのか、関西に住む二五人の「残留孤児」の今を切り取つたドキュメント、写真展が八月十五日から二十日まで、大阪駅前第2ビルで開かれました。

会場フロアでは連日「1945『満州』に取り残された夏、その時私は・・・」をテーマに中国「残留日本人孤児」ご本人が当時の状況や生き立ちをお話ししました。

写真に写つている七十代男性の方は、終戦後の開拓団の過酷な逃避行のなかで、一緒にいた家族が全員なくなり、子供だった自分ひとりだけが

神戸地裁では、みんなの運

助かり流浪していたところ、中国人の養父母と出会い育てられました。そして苦労してシャツの仕立ての仕事をしていました。日本へ帰国後は仕

事もなかなか見つからず、自分で努力して、織維商社に入社しました。この間、国は全テーマに中国「残留日本人孤児」ご本人が当時の状況や生き立ちをお話ししました。

9月13日第三種郵便物認可

申込料金

料金

料金